

# 夢窓幼稚園通信第6号

2019年 4月 26日

空をのんびりと見上げることもなく、自分の吸う息も口先の空間の空気ばかりで、流れる雲から届けられる春の風もお腹いっぱい吸い込まずに、バタバタと忙しく二三日走り回っている内に、桜もイチョウも藤の葉っぱも見事な一入前になって全体繁っていました。

「あらあら、大切な一日いちにちなのに、せわしなく過ぎてしまった！」と、風に泳ぐこいのぼりに打ち明けると、思わず

♪ やねより たかい こいのぼり ...

と歌が出てしまいました。近くで どんろだんご作りをしていた子どもたちも空を見上げてのびのびにうたいだしました。

ただ それだけのことなのですが、「何と幸せなことだろう」と思いました。仕事で忙しいことには変わりはありませんが、

瞬間に「ゆっくり ゆったり のどか」がそこに生まれたのです。

何かが見つかりそうな気がします。大切なことが何であるのか感じられるかもしれません。風が素敵な便りを届けてくれそうな予感がします。

そうだ風のように動いてみよう！ 軽やかな 次々と誰かに。何かに ささやきかけたり 働きかけたり... 動いてみることで気がついたり、発見することが きっと あるはずです。

そして反対に じっと動かさず 心静かに ほのぼのした気分で何かをみるのではなく目の前にあるものを のどかに眺めていると、存在の秘密や意味が そと 開示されるかもしれません。

子どもたちは思いきり動きまわり、そしてひとつひとつの「今」にじっくり夢中に遊んでいるのですから、すでにたくさんの宝ものを見つけ、大切なことに気づいているのでしょ。

五月のテーマは、『風 — 気づく — みつけた』です。

♪ 夏も近づくと 八十八夜 ...

さあ 五月の風になって 心動かし、そして ゆっくり一服のお茶をのんで のどかに世界の秘密を感じて過しましよ！

連休中 お元気で！ 五月はどんなことが待っているのでしょうか?! たのしみですね。

園長 弁光 泰雄